

令和6年度

いちのみやエコスクール運動 児童の取り組み方



目 次

基本的な取り組み項目	1
① 省エネルギー行動	1
◆ Plan : 取り組みの計画	1
◆ Do : 取り組みの実行・記録	2
(1) 電気・水道の使用量調査と結果の掲示	2
(2) 節電・節水パトロールの実施と結果の掲示	4
(3) 集会や校内放送などでの呼びかけ	5
(4) ポスターやステッカーなどの掲示物の作成	5
◆ Check : 取り組みの成果の評価	6
◆ Action : 取り組みの内容の改善	7
② 省資源・リサイクル行動	8
◆ Plan : 取り組みの計画	8
◆ Do : 取り組みの実行・記録	9
(1) ごみ・資源の分別チェックの実施	9
(2) ごみ・資源の計量調査と結果の掲示	10
(3) 集会や校内放送などでの呼びかけ	12
(4) ポスターやステッカーなどの掲示物の作成	12
◆ Check : 取り組みの成果の評価	13
◆ Action : 取り組みの内容の改善	14
他校の取り組み紹介	15
児童向けチラシ・資料	20
地球にやさしい行動をしよう!	20
いちのみや530作戦	21
節電・節水をすることで地球にやさしいことがいっぱい	22
ごみを減らすことで地球にやさしいことがいっぱい	23
資源をリサイクルすることで地球にやさしいことがいっぱい	24
ごみの分別	25
「資源」と「ごみ」のゆくえ	26
一宮市のごみの状況を見てください(ごみの量)	27
一宮市のごみの状況を見てください(ごみの処理にかかるお金)	28

< 基本的な取り組み項目 >

① 省エネルギー行動

日々の学校生活の中で、電気や水道のむだづかいをなくし大切に使います。

【Plan (プラン)】

電気・水道の使い方をチェックし、地球にやさしい行動について考えましょう。
また、どうすればむだづかいをなくすことができるか考えましょう。

< チェック表 >

こ う 項	も く 目	地球に やさしい行動	どうすれば むだづかいをなくす ことができますか
(例) 使っていない教室や廊下などの 電灯がついている。		(例) 電灯を消す	(例) 放送で全校に呼びかける
1 ひつようのない時に、かんきせんが ついたままになっている。			
2 テレビなど電気製品の主電源が ついたままになっている。			
3 使っていない水道から水が出ている。			
4 手を洗う時に、水を出し過ぎている。			
5 トイレを使う時に、必要以上に何 度も水を流している。			
6 歯みがきやうがいの時に、水を出 しっぱなしにしている。			

* 空欄は自分たちで項目を作って使いましょう。

【Do (ドゥー)】

(1) どのくらい電気・水道を使っているか調べてみましょう。

また、全校のみなさんにわかるように結果の表を作成し、掲示しましょう。

- ◆ 学校にある電気・水道の使用量の検針メーターを見ることができますか。
先生と相談して調べてください。
- ◆ メーターを正しく読みとるため、先生の指導を受けてから始めましょう。
- ◆ 1ヶ月間の電気・水道の使用量を調べましょう。

① 1週間の使用量は、次のようにして計算します。

(例) $\boxed{6/8 \text{ のメーターの数字}} - \boxed{6/1 \text{ のメーターの数字}} = \boxed{1 \text{ 週間の使用量}}$

<電気> 5,840kWh - 5,630kWh = 210kWh

<水道> 584m³ - 563m³ = 21m³

② 1ヶ月間の使用量は、下の表のように記録して調べます。

(例)	6月	6/1	6/8	6/15	6/22	6/29	1ヶ月間では
電	メーターの数字	5,630kWh	5,840kWh	6,010kWh	6,170kWh	6,330kWh	
気	1週間の使用量		210kWh	170kWh	160kWh	160kWh	700kWh
水	メーターの数字	563m ³	584m ³	604m ³	627m ³	649m ³	
道	1週間の使用量		21m ³	20m ³	23m ³	22m ³	86m ³

<参考> kWh (キロワットアワー) は、電気の量の単位、
m³ (りっぽうメートル) は、水の量の単位です。

電気や水を作るにはエネルギーが必要です。

エネルギーをたくさん使えば温室効果ガスの二酸化炭素がたくさん発生します。

エネルギーを大切にして二酸化炭素の排出量を減らしましょう。

目 標
(スローガン)

	月	/	/	/	/	/	1ヶ月間では
電	メーターの数字	kWh	kWh	kWh	kWh	kWh	
気	1週間の使用量 ^{しょうりょう}		kWh	kWh	kWh	kWh	kWh
水	メーターの数字	m ³					
道	1週間の使用量 ^{しょうりょう}		m ³				

<参考> kWh (キロワットアワー) は、電気の量^{りょう}の単位^{たんい}、m³ (りっぽうメートル) は、水の量^{りょう}の単位^{たんい}です。

【Do (ドゥー)】

(2) 学校内の^{せつでん}節電・^{せつすい}節水パトロールをしましょう。

また、全校のみなさんにわかるようにチェック表を^{けいじ}掲示しましょう。

月 電気のつけっぱなしチェック表 【消えている：○ ついている：×】

場所	日にち	^{ほうか} 中間放課	^{ほうか} 昼放課	^{そうじ} 掃除の時間	
年 組	/				
トイレ	/				
^{ろうか} 廊下	/				
	/				
	/				
	/				
○の合計					

月 水道の出しっぱなしチェック表 【出していない：○ 出ている：×】

場所	日にち	^{ほうか} 中間放課	^{ほうか} 昼放課	下校前	
トイレ	/				
^{ろうか} 廊下	/				
^{しょうこうぐち} 昇降口	/				
	/				
	/				
	/				
○の合計					

【Do (ドゥー)】

(3) 節電・節水について全校集会や校内放送などで呼びかけをしましょう。

◆ 先生と相談して、いつ・どの場面で・だれが呼びかけをするか決めましょう。

いつ	どの場面で	だれが
(例) 5月・11月	(例) 全校集会	(例) 4年生全員
(例) 給食の時間	(例) 校内放送	(例) エコ委員2人

◆ 呼びかけの内容を考えましょう。

--

【Do (ドゥー)】

(4) ポスターやステッカーなどの掲示物を作りましょう。

◆ 文字やイラストを使って、電気・水道のむだづかいがなくなるように呼びかけるポスターやステッカーを作りましょう。

◆ どこに貼ると効果的か考え、先生に確認してから掲示しましょう。

【Check (チェック)】

せつでん せつすい かくにん
節電・節水ができているか確認しましょう。

かくにん
取り組みの前後で比べると成果を確認することができます。

<チェック表>

こ う 項	も く 目	/	/	/
1	使っていない教室や廊下などの電気は消します。			
2	トイレの電気は使ったら消します。			
3	テレビなど電気製品は主電源を切ります。			
4	使い終わったら水道の栓をしっかりと閉めます。			
5	手を洗う時に、水の出し過ぎに注意しています。			
6	歯みがきやうがいの時に、水を出しっぱなしにしません。			

よくできたとき：◎ 少しできたとき：○ あまりできなかったとき：△

* 空欄は自分たちで項目を作って使いましょう。

【Action (アクション)】

前年と比べて結果を振り返り、取り組みで良かった点・見直したい点を話し合
ましょう。

- ◆ 1ヶ月の使用量を同じ月で比べてみましょう。

	前年 月	今年 月	取り組みの成果
電気	A kWh	B kWh	A-B kWh
水道	C m ³	D m ³	C-D m ³

- ◆ 今までの取り組みで良かった点を書き出しましょう。

(例) パトロールの時に、電気がついているクラスに注意した。

- ◆ 今までの取り組みで見直したい点を書き出しましょう。

(例) 水道の蛇口のところに貼る「節水」のステッカーを作りたい。

- ◆ 運動によって空気中に出る二酸化炭素の量がどのくらい減ったのか求めましょう。

① **電気** 1ヶ月間の節約量 × 0.39 = 減らした1ヶ月の二酸化炭素の量
kWh × 0.39 = kg

② **水道** 1ヶ月間の節約量 × 0.36 = 減らした1ヶ月の二酸化炭素の量
m³ × 0.36 = kg

<参考> 計算式の0.39 (kg-CO²/kWh) と0.36 (kg-CO²/m³) は、
それぞれ電気と水道の量を二酸化炭素の量に換算する時の係数です。

出典：環境省「(家庭からの二酸化炭素排出量算定用) 排出係数一覧」

< 基本的な取り組み項目 >

② 省資源・リサイクル行動

日々の学校生活の中で出るごみを分別し、リサイクルします。

【Plan (プラン)】

ごみ・資源の捨て方をチェックし、地球にやさしい行動について考えましょう。
また、どうすればごみを分別しリサイクルすることができるか考えましょう。

<チェック表>

項目	もく目	地球にやさしい行動	どうすればごみの分別・リサイクルをすることができますか
	(例) 資源になる紙を捨てている。	(例) リサイクルボックスに入れる	(例) 分別チェックをして呼びかける
1	まだ使える鉛筆や消しゴムなどを捨てている。		
2	まだ使えるノートなどを捨てている。		
3	「いちのみや530作戦」を実行していない。		

* 空欄は自分たちで項目を作って使いましょう。

<参考>

「いちのみや530作戦」とは、まちがごみであふれてしまわないように、「ひとり1日53gのごみを減らそう」というものです。
53gのごみというと、わりばし10本、バナナの皮1枚くらいの重さです。
ひとりひとりが心がけて、みんなへ広げることが大切です。

【Do (ドゥー)】

(1) どんなごみ・資源しげんがあるか調べてみましょう。

また、可燃かねんごみの中に資源しげんが混ざまっていないか分別ぶんべつチェックをしましょう。

◆ 可燃かねんごみか資源しげんか分類ぶんるいしてみましょう。

ごみの種類 <small>しゅるい</small>	○をつけてください
プリントの紙	可燃 <small>かねん</small> ごみ ・ 資源 <small>しげん</small>
鉛筆 <small>えんぴつ</small>	可燃 <small>かねん</small> ごみ ・ 資源 <small>しげん</small>
ノート	可燃 <small>かねん</small> ごみ ・ 資源 <small>しげん</small>
ちり紙	可燃 <small>かねん</small> ごみ ・ 資源 <small>しげん</small>
	可燃 <small>かねん</small> ごみ ・ 資源 <small>しげん</small>
	可燃 <small>かねん</small> ごみ ・ 資源 <small>しげん</small>

◆ 可燃かねんごみの中に資源しげんが混ざまっていないか分別ぶんべつチェックをしましょう。

月 分別チェック表 【できている：○ できていない：×】

場所	日にち	○/×	混ざ <small>ま</small> っていた資源 <small>しげん</small>
年 組	/		
年 組	/		
年 組	/		
年 組	/		
年 組	/		
○の合計			

【Do (ドゥー)】

(2) どのくらい可燃ごみ・資源が出ているか調べてみましょう。

また、全校のみなさんにわかるように結果の表を作成し、掲示しましょう。

◆ ごみの重さは、家庭用の体重計などを使ってはかることができます。

◆ 1ヶ月間の可燃ごみ・資源の量を調べましょう。

(例)	6月	6/4	6/11	6/18	6/25	/	1ヶ月間では
可燃ごみ	ごみ袋の数	5	3	2	3		
	ごみの重さ	15.0 kg	12.0 kg	6.0 kg	10.0 kg	kg	43.0 kg
資源	リサイクルボックスの数	12	8	12	16		
	リサイクルボックスに集まった重さ	3.0 kg	2.0 kg	3.0 kg	4.0 kg	kg	12.0 kg
	それ以外で集まった重さ	kg	0.5 kg	kg	2.4 kg	kg	2.9 kg

名刺（手のひら）より大きな紙はリサイクルできます。

各教室にリサイクルボックスをおいて、名刺（手のひら）より大きい紙を

可燃ごみではなく資源として回収しましょう。

目 標
(スローガン)

	6月	/	/	/	/	/	1ヶ月間では
可燃ごみ か ね ん	ごみ袋の数						
	ごみの重さ	kg	kg	kg	kg	kg	kg
資源 し げ ん	リサイクル ボックスの数						
	リサイクル ボックスに 集まった重さ	kg	kg	kg	kg	kg	kg
	それ以外で 集まった重さ	kg	kg	kg	kg	kg	kg

【Do (ドゥー)】

(3) ごみの分別・リサイクルについて全校集会や校内放送などで呼びかけをしましょう。

◆ 先生と相談して、いつ・どの場面で・だれが呼びかけをするか決めましょう。

いつ	どの場面で	だれが
(例) 5月・11月	(例) 全校集会	(例) 4年生全員
(例) 掃除 <small>そうじ</small> の時間	(例) 分別 <small>ぶんべつ</small> チェックの時	(例) エコ委員2人

◆ 呼びかけの内容を考えましょう。

--

【Do (ドゥー)】

(4) ポスターやステッカーなどの掲示物けいじぶつを作りましょう。

◆ 文字やイラストを使って、ごみの分別・リサイクルを呼びかけるポスターやステッカーを作りましょう。

◆ どこに貼ると効果的か考え、先生に確認してから掲示かくにんしましょう。

【Check (チェック)】

ごみの分別ぶんべつ・リサイクルができていますか確認かくにんしましょう。

取り組みの前後で比べると成果かくにんを確認することができます。

<チェック表>

こ う 項	も く 目	/	/	/
1	鉛筆 <small>えんぴつ</small> や消しゴムなどを大切に使っています。			
2	ノートは最後まで使っています。 <small>さいご</small>			
3	名刺 <small>めいし</small> (手のひら)より大きな紙はリサイクルボックスに入れてリサイクルに心がけています。			
4	ごみは分別 <small>ぶんべつ</small> しています。			
5	「いちのみや530作戦 <small>ごみぜろさくせん</small> 」を実行しています。			

よくできたとき：◎ 少しできたとき：○ あまりできなかったとき：△

* 空欄くうらんは自分たちで項目こうもくを作って使いましょう。

【Action (アクション)】

1ヶ月ごとの^{りょう}量を比べて結果を振り返り、^{けっか}取り組みで良かった点・^ふ見直したい点^{かえ}を話し合しましょう。

◆ 1ヶ月ごとの^{りょう}量を比べてみましょう。

		月	月	月	月	月
可燃 ごみ ^{かねんごみ}	ごみ袋の数					
	ごみの重さ	kg	kg	kg	kg	kg
資源 ^{しげん}	リサイクルボックスの数					
	リサイクルボックスに集まった重さ	kg	kg	kg	kg	kg
	それ以外で集まった重さ	kg	kg	kg	kg	kg

◆ 今までの取り組みで良かった点を書き出しましょう。

(例) 毎週ごみの重さをはかって記録 ^{きろく} ができた。

◆ 今までの取り組みで見直したい点を書き出しましょう。

(例) 可燃 ^{かねん} ごみの中に資源 ^{しげん} が混ざ ^ま っていたクラスに注意したい。

他校の取り組み紹介 ①

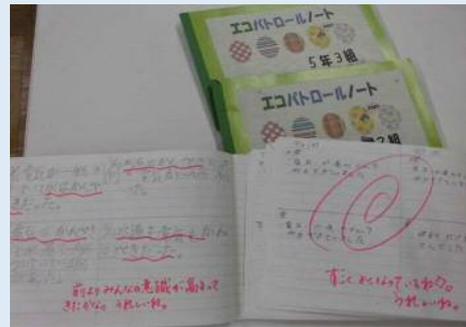
【 ① 省エネルギー行動 】

電気・水道の使用量調査



メーター・伝票・請求書などで使用量の確認ができます。
前年と比較できるように月ごとにグラフを作成して掲示しました。

節電・節水パトロール



日にちや時間を決めてパトロールを行い、節電・節水の点検を行いノートにまとめている。

掲示物の作成



児童が作成したステッカーをラミネート加工して、電気スイッチの近くに貼りました。

節水の啓発用モデル



水を鉛筆の太さで出すときと勢いよく出すときの水の量を視覚的にわかりやすく表すモデルを作り、啓発しました。

他校の取り組み紹介 ②

【 ② 省資源・リサイクル行動 】

給食の食べ残しゼロ



給食の食べ残しを少なくして、可燃ごみの減量に貢献する。

「食缶0デー」と名前をつけ、啓発をしました。

リサイクル紙計量調査



毎月クラスごとにリサイクル紙を回収して記録表にまとめました。

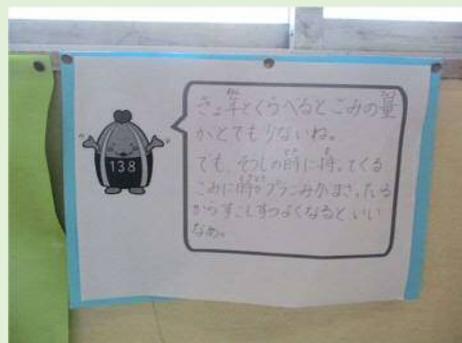
計量にははかりを使用しました。

計量結果の掲示



可燃ごみとリサイクル紙の計量結果を月ごとにまとめ、新聞紙でグラフを作成しました。

気付いたことを呼びかけ

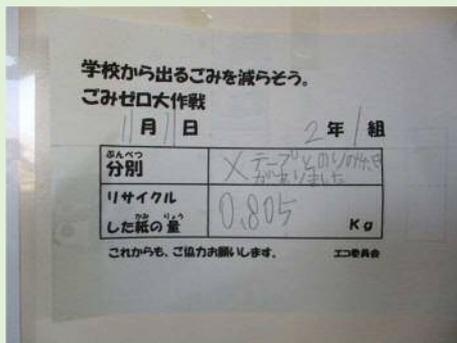


計量結果のグラフの横に、児童が気付いたことを記載して、呼びかけを行いました。

他校の取り組み紹介 ③

【 ② 省資源・リサイクル行動 】

分別チェックの結果表



学校から出るごみを減らそう。 ごみゼロ大作戦	
月日	
年組	
分別	X 燃やせるゴミのリサイクル ができませんでした
リサイクル した紙の量	0.805 Kg

回収した可燃ごみとリサイクル紙のチェックを行い、分別ができていたかと計量結果を記載した結果表を作成して、各クラスに配布しました。

啓発チラシの作成



名刺サイズ以上の紙をリサイクルするよう呼びかける啓発チラシを作成し、回収袋に貼って、各クラスに周知しました。

リサイクル袋の作成



リサイクルと資源の分別を促す内容のカードを貼った袋を作り、各クラスに配布しました。

分別の仕方の掲示



可燃ごみ・不燃ごみ・プラスチック製容器包装・リサイクル紙の分別についての掲示物を作成し、廊下に掲示しました。

他校の取り組み紹介 ④

【 その他の取り組み① 】

全校集会



全校集会で節電・節水やリサイクルの呼びかけを行いました。劇やクイズを取り入れて、低学年でもわかりやすいように工夫しました。

コンポスト運動



コンポストを校庭に設置し、たい肥にする活動を行っています。中身を確認し、溜まったら平らにならしています。

エコキャラクターの作成



エコに親しみを持ってもらえるよう、マスコットキャラクターを考え、より親しみをもって啓発を行えるようにしました。

エコキャップの作成



牛乳パックで作成したエコキャップ（帽子）をかぶって啓発活動を行いました。児童が楽しみながら取り組みました。

他校の取り組み紹介 ⑤

【 その他の取り組み② 】

ポスターを持って呼びかけ



ポスターを持って啓発パトロールを行い、大きな声を出さずに呼びかけを行えるよう工夫しました。

放送での呼びかけの充実



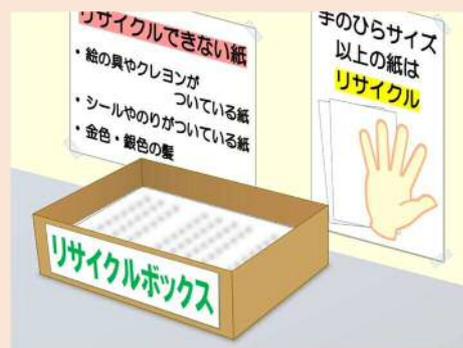
各クラスを回って呼びかけを行う代わりに、放送の回数を増やしたり、テレビ放送を行ったりなど、放送での呼びかけを充実させました。

オンライン集会での呼びかけ



全校集会をオンラインで行うことにより、密を避けながら全校に呼びかけを行うことができました。

リサイクル紙の取り組みの充実



日々の取り組みに加えて強化期間を設けるなど、基本的な取り組み項目の中でコロナ禍でも取り組みやすいリサイクル紙の取り組みを充実させました。

地球にやさしい行動をしよう！

わたしたちのくらしがより快適で便利なものになるにつれて、どんどんものを作り、使い、そして捨てることが当たり前になってしまいました。



このままだと地球は
どうなるのかな？

その結果、二酸化炭素の増加による地球温暖化、大量のごみの発生など、さまざまな問題が起こりました。地球環境はこのままでよいのでしょうか？

これから地球環境を少しでもよい状態にしていくためには、さまざまな地球にやさしい行動が必要です。

たとえば、学校でできることは・・・

- ◎ 電気や水のむだづかいをやめる
- ◎ ごみを減らす など

みんなで地球にやさしい
学校づくりをしましょう！



いちのみや 530（ごみゼロ）作戦

キーワードは4つの「R」



1 リフューズ Refuse

ごみになるものはもらわず
ことわりましょう。

かじょう ほうそう
過剰な包装は
ことわりましょう。



ふよう ぶくろ
不要なレジ袋は
ことわりましょう。

2 リデュース Reduce

ごみを増やさない生活を
しましょう。

しょくりょうひん
食料品等を買う時
は必要な分だけ
にしましょう。



す
使い捨て商品は
ひか
控えましょう。
つ
詰め替え商品を
使用しましょう。

3 リユース Reuse

使えるものは繰り返し使用
しましょう。

しゅうり
修理して使える
ものは捨てずに
使いましょう。



不要となったものは
必要としている人に
ゆずりましょう。

4 リサイクル Recycle

リサイクルを進め資源を
有効利用しましょう。

ぶん べつ
分別・リサイクルを
てつてい
徹底し、資源の有効
利用を図りましょう。



リサイクル商品を
せつ きよくてき
積極的に使用しま
しょう。

節電・節水をする ことで

地球にやさしいことがいっぱい

その1

しげん みらい
資源を未来にのこす

でんき つく ほうほう にほん いちばんおお せきゆ せきたん てんねん しげん も
電気を作る方法のうち日本で一番多いのは、石油・石炭・天然ガスなどの資源を燃や
かりよくはつでん せつでん しげん つか りょう へ たいせつ しげん すこ なが
す火力発電です。節電をすると、資源を使う量が減り、大切な資源を少しでも長く
みらい
未来にのこすことができます。

その2

にさんかたんそ はっせい
二酸化炭素の発生をおさえる

かりよくはつでん おお でんき つく
火力発電は大きなパワーでたくさんの電気を作ることがで
きますが、どうじ にさんかたんそ はっせい
同時にたくさんの二酸化炭素を発生させます。
せつでん ちきゅうおんだんか げんいん にさんかたんそ
節電をすると、地球温暖化の原因となっている二酸化炭素の
はっせい
発生をおさえることができます。



その3

みず みらい
水を未来にのこす

みず しぜん なか じゆんかん たいせつ しげん せつすい みず
水は自然の中を循環する大切な資源です。節水をすると、きれいな水を
すこ なが みらい
少しでも長く未来にのこすことができます。



その4

せつすい せつでん
節水が節電になる

みず じゃぐち で あいだ よご みず みず あ
水が蛇口から出るまでの間に、汚れた水をきれいにしたり、ポンプで水をくみ上げ
たり、じつ でんき つか せつすい せつでん
実はたくさんの電気が使われています。節水をすると、節電につながります。

ごみを減らす ことで

地球にやさしいことがいっぱい

その1 う ごみを埋めるところを未来にのこす みらい

しげん つか だ
資源として使えるものをごみとして出すと、ごみ
う すく
を埋めるところはどんどん少なくなってしまいま
いちのみやし こうみょうじさいしゅうしょぶんじょう ちか しょうらい
す。一宮市の光明寺最終処分場も近い将来ごみ
はい へ
や灰でいっぱいになります。ごみを減らすことで、
すこ なが う つか
少しでも長くごみを埋めるところが使えるようになります。



その2 しより かね すく ごみを処理するお金を少なくする

しより かね へ
ごみを処理するためにはとてもお金がかかります。ごみを減らすことで、ほかのいろ
か
いろなものを買うことができます。

その3 にさんかたんそ はっせい 二酸化炭素の発生をおさえる

しゅうしゅうしゃ も しせつ
ごみは収集車で、ごみを燃やす施設やリサイクル
こうじょう しより はこ しゅうしゅうしゃ
工場、ごみを処理するところへ運ばれます。収集車
うご うご つか にさんかたんそ だ
が動けば動くほど、ガソリンを使い二酸化炭素を出し
へ しゅうしゅうしゃ こうりつ あ
ます。ごみを減らすことで、収集車の効率が上がり、
ちきゅうおんだんか げんいん にさんかたんそ はっせい
地球温暖化の原因となる二酸化炭素の発生をおさえ
ることができます。



資源をリサイクルする ことで

地球にやさしいことがいっぱい

その1

しげん みらい
資源を未来にのこす

かみ き 紙は木からできています。紙を作るとき古紙を使えば、森林を守ることになります。また、プラスチックは石油を使って作られますが、リサイクルして新しいものを作れば、石油を使う量を減らすことができます。資源をリサイクルすることで、限りある資源を少しでも長く未来にのこすことができます。



その2

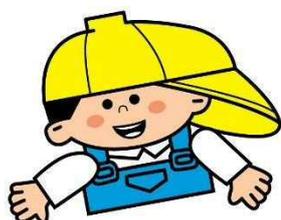
にさんかたんそ はっせい
二酸化炭素の発生をおさえる

しげん ぶんべつ 資源をきちんと分別してリサイクルすれば、燃やさなくてすむので二酸化炭素の発生をおさえることができます。

その3

すく つく
少ないエネルギーで作ることができる

げんざいりょう せいひん つく 原材料から製品を作るより、少ないエネルギーで作ることができるものが多いです。



こうどう
ぼくたちの行動で

ちきゅう よろこ
地球が喜んでくれるといいな



ごみの分別



可燃ごみ

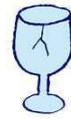
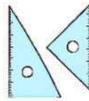
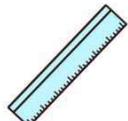
- ◆ 生ごみ、木や草、木で作られたもの、皮製品、資源にならない布製品、ゴム製品
- ◆ リサイクルできない紙類
(例：絵の具・クレヨンがついている紙、シール・のりがついている紙、金色・銀色の紙、洗剤の箱などのおいがついた紙、紙コップなどの防水加工された紙、レシート、写真 など)
- ◆ 汚れを取ることができないプラスチック製容器包装 ◆ ボール（ゴム製・皮製）
(例：のりや絵の具などのチューブ類、レトルトパック など)
- ◆ ガムテープ、両面テープ ◆ クレヨン、クーピー



※ 学校ではたくさんの紙を使います。手のひらより大きな紙はリサイクルできます。捨ててしまわずに紙袋にためて資源回収にできます。

不燃ごみ

- ◆ プラスチック製品
(例：定規、分度器、シャープペンシル、ボールペン、油性ペン、ポリバケツ、はさみ、洗濯ばさみ、下敷き、クリアファイル など)
- ◆ 割れたガラスビン、板ガラス、陶器、食器（割れたものは危ないので紙などで包んでね）
- ◆ 容器包装でないプラスチック・ビニール製品 ◆ 磁石
- ◆ ビニールひも（タフロープ） ◆ ラミネート ◆ スポンジ
- ◆ CD、DVD ◆ チョーク ◆ アルミホイル ◆ 画びょう



定規には
プラマークが
ついていないね



プラスチック製容器包装

- ◆ 商品が入っていたプラスチック（ビニール）製の容器、包装
(例：おりがみの袋、ポケットティッシュの袋、お菓子の袋、レジ袋、消しゴムを包んでいたビニール、図工の材料が入っていた袋・容器、スティックのり・液体のりの容器、牛乳のビニールキャップ など)
- ◆ 洗剤などのボトル・つめかえ容器
- ◆ 発泡スチロール（電化製品が壊れないように包んでいたもの、魚・野菜・果物などの商品が入っていたもの など）



汚れていたら洗ってね！
汚れが落ちないときは
可燃ごみに出してね！



※ 分別に迷ったときは・・・

- ◆ 汚れが取れない紙類・プラスチック製容器包装は可燃ごみに分別しましょう。
- ◆ プラスチック製容器包装か不燃ごみか分からないプラスチック・ビニール類は、商品の容器や包装に使われていたものでなければ不燃ごみに分別しましょう。
- ◆ サビのひどい金属・金属とほかの素材が分けられないものは不燃ごみに分別しましょう

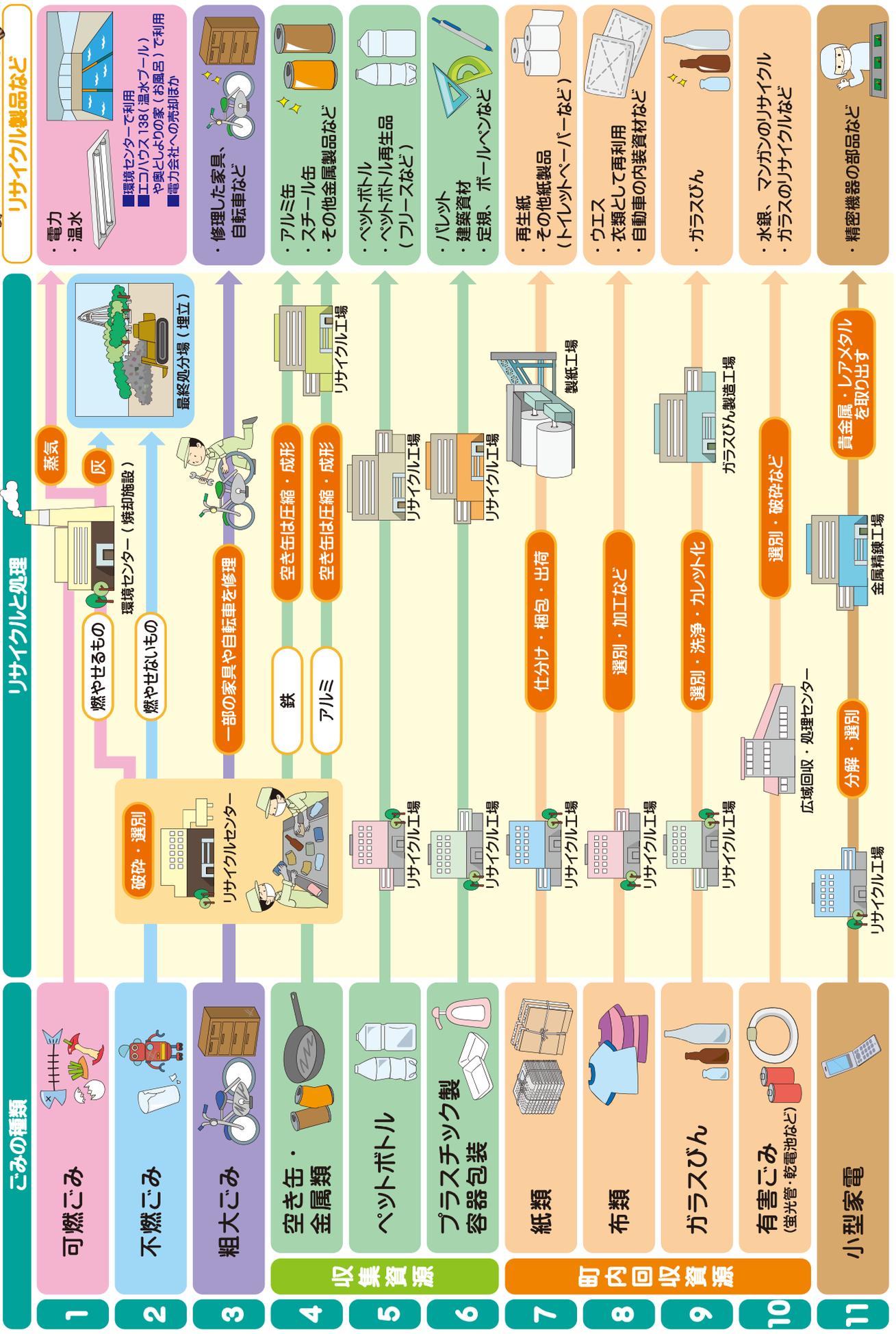


「資源」と「ごみ」のゆくえ

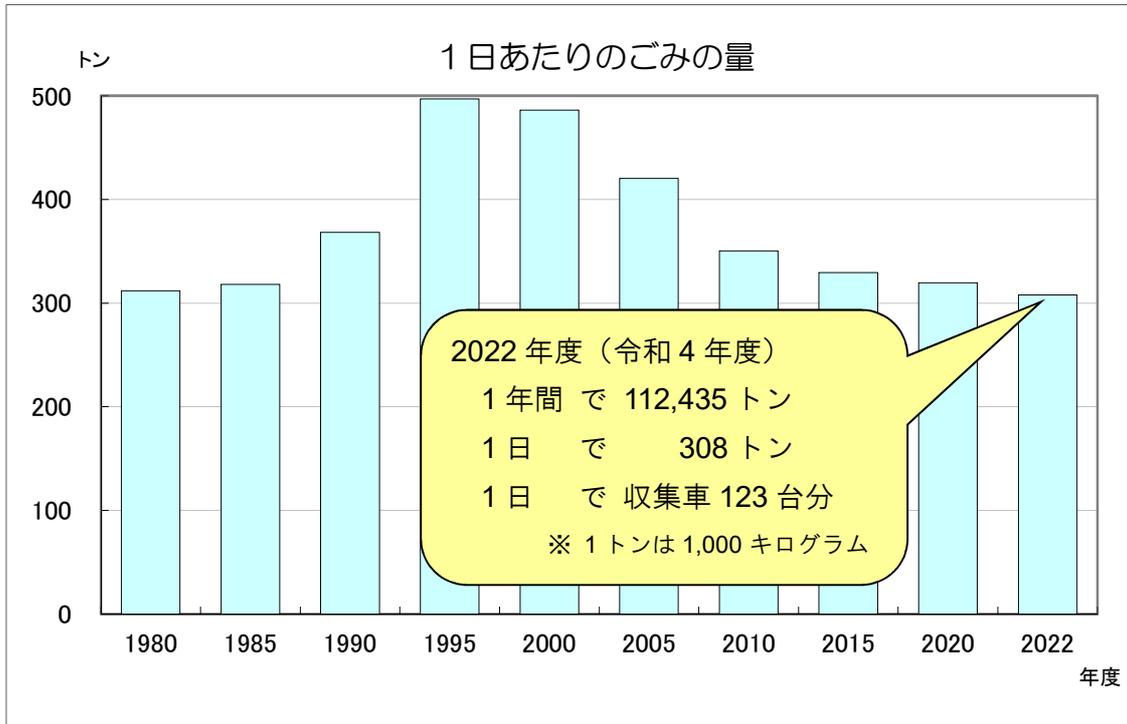
分別したごみはどこへ行くの？



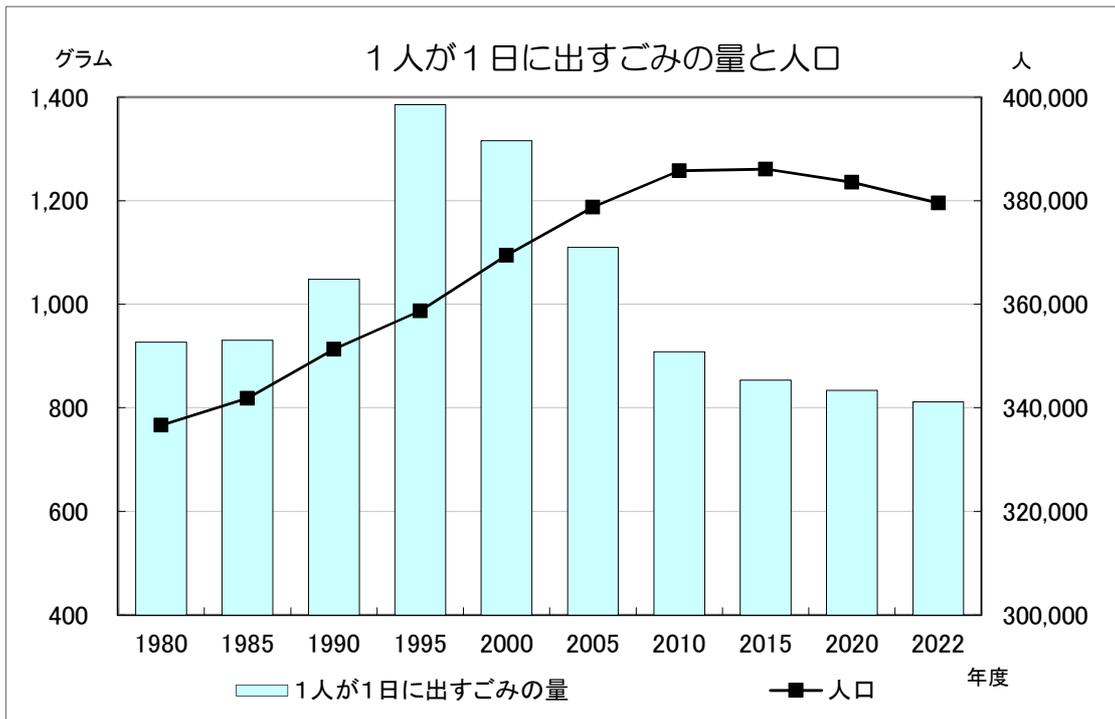
カンちゃん
ピンちゃん



一宮市のごみの状況を見てみましょう



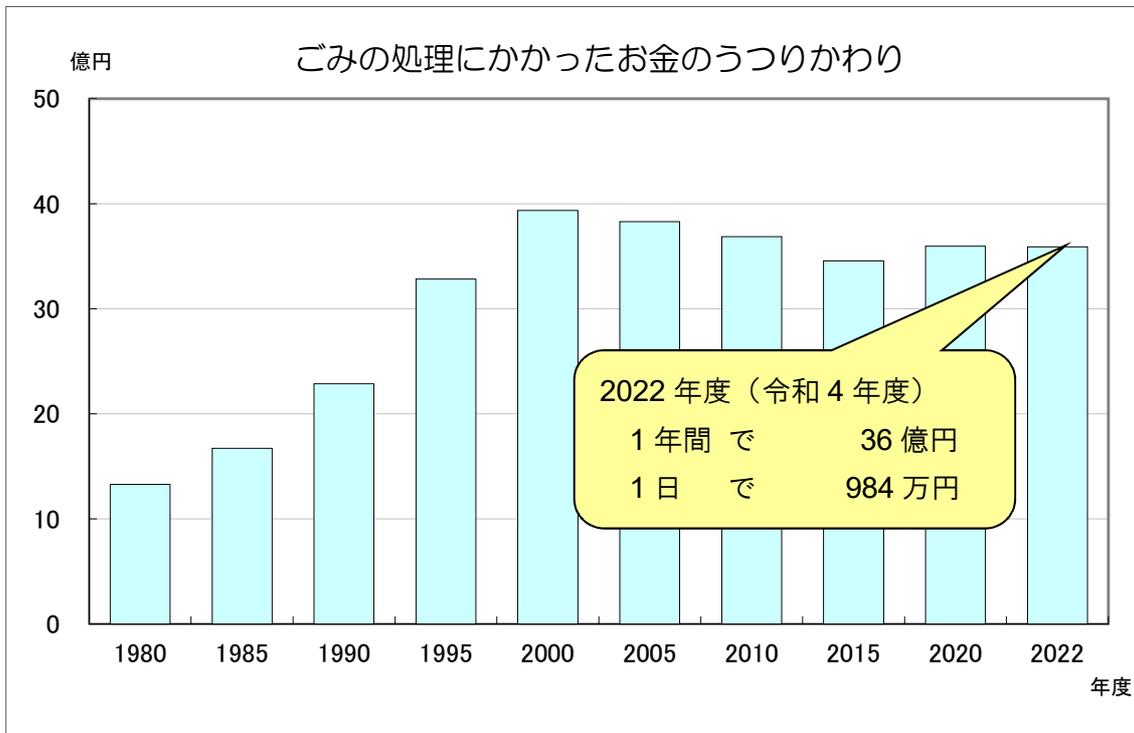
ごみが増えたり減ったりするのは
 人口に関係があるのかな？



一宮市のごみの状況を見てみましょう



一宮市では ^{しより}ごみの処理に
^{かね}どのくらいお金がかかるのかな？



とてもたくさんのお

^{かね}金がかかっているね

